

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 東セロ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3971 URL <http://www.tohcello.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富永 紘一

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 平瀬 栄治

TEL 03-3272-3461

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	50,683	—	3,974	—	3,793	—	2,242	—
20年3月期第3四半期	50,391	5.1	3,927	△12.2	3,633	△13.5	2,170	22.7

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	64.26	—	—	—
20年3月期第3四半期	62.22	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
21年3月期第3四半期	59,503	—	23,711	—	39.6	675.97	—	
20年3月期	53,766	—	22,510	—	41.7	642.07	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 23,583百万円 20年3月期 22,401百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
21年3月期	—	7.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.00	19.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注)21年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭、記念配当 5円00銭

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	64,000	△3.5	3,000	△40.6	2,800	△40.6	1,400	△49.2	40.13	—

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 34,900,000株 20年3月期 34,900,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 11,233株 20年3月期 11,183株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 34,888,814株 20年3月期第3四半期 34,889,160株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(2)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）は、金融危機が引き金となって実体経済が急激に冷え込む中で、包装用フィルム事業においては秋以降の需要の急激な落ち込み、産業用機能性フィルム事業においては携帯電話を初めとする多様な電子機器の需要低迷により、厳しい状況が続きました。

このような事業環境のもとで、当社グループは、交易条件の維持、徹底したコストダウン、生産性向上等に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は506億83百万円となり、営業利益は39億74百万円、経常利益は37億93百万円、四半期純利益は22億42百万円となりました。

<包装用フィルム事業>

食品需要の低迷に加え、第3四半期に入って工業用途向けの出荷減少等厳しい状況が続きましたが、交易条件維持のための製品価格修正等により、売上高は428億58百万円となりました。

<産業用機能性フィルム事業>

主用途である電子部品業界で広範囲且つ大幅に在庫調整と生産調整が行われた結果、主力のシリコーンコートフィルム等の需要が減少し、売上高は78億24百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ、57億37百万円増加し、595億3百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金並びにたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ、42億25百万円増加し、350億31百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末に比べ、15億12百万円増加し、244億72百万円となりました。

負債は、長期借入金の返済等による減少があったものの、短期借入金による調達等により、前連結会計年度末に比べ、45億37百万円増加し、357億92百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、12億円増加し、237億11百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ、2.1ポイント減少し、39.6%となりました。

(2) 当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、41億29百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益37億93百万円、減価償却費21億67百万円、投資有価証券売却損益△2億30百万円、売上債権の増加額△2億41百万円、たな卸資産の増加額△10億13百万円、仕入債務の増加額15億91百万円、法人税等の支払額△18億51百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△40億73百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出△39億15百万円、投資有価証券の取得による支出△3億58百万円、投資有価証券の売却による収入2億35百万円であります。

以上により、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、55百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、29億7百万円となりました。主な内訳は、短期借入金の純増減額45億20百万円、長期借入金の返済による支出△10億82百万円、配当金の支払額△4億88百万円であります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高と比べ、29億63百万円増加し、37億83百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

包装用フィルム事業における需要低迷による減販、産業用機能性フィルム事業のシリコーンコートフィルムの大幅減販等により、平成20年5月9日に発表の通期連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日発表の「平成21年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、売上原価を105百万円計上するとともに、期首在庫分については、特別損失（たな卸資産評価損）に230百万円を計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は105百万円、税金等調整前四半期純利益は336百万円それぞれ減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,783	820
受取手形及び売掛金	20,229	19,957
商品及び製品	8,813	7,942
仕掛品	1	5
原材料及び貯蔵品	1,584	1,438
その他	699	729
貸倒引当金	△80	△86
流動資産合計	35,031	30,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,147	6,763
機械装置及び運搬具（純額）	9,046	6,972
その他（純額）	4,773	5,451
有形固定資産合計	20,967	19,187
無形固定資産	387	453
投資その他の資産		
投資有価証券	1,623	2,233
その他	1,528	1,118
貸倒引当金	△34	△32
投資その他の資産合計	3,117	3,319
固定資産合計	24,472	22,960
資産合計	59,503	53,766

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,910	14,318
短期借入金	4,555	35
1年内返済予定の長期借入金	1,201	1,327
1年内償還予定の社債	2,000	—
未払法人税等	731	1,066
その他	4,662	4,865
流動負債合計	29,060	21,613
固定負債		
社債	—	2,000
長期借入金	4,230	5,186
退職給付引当金	2,265	2,244
役員退職慰労引当金	182	155
その他	53	54
固定負債合計	6,732	9,641
負債合計	35,792	31,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	2,042	2,042
利益剰余金	17,975	16,221
自己株式	△6	△6
株主資本合計	23,461	21,708
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	121	692
評価・換算差額等合計	121	692
少数株主持分	127	109
純資産合計	23,711	22,510
負債純資産合計	59,503	53,766

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	50,683
売上原価	40,499
売上総利益	10,183
販売費及び一般管理費	
運送費及び保管費	1,910
荷造費	74
貸倒引当金繰入額	0
給料手当及び福利費	1,397
退職給付費用	101
役員退職慰労引当金繰入額	32
研究開発費	1,081
その他	1,609
販売費及び一般管理費合計	6,208
営業利益	3,974
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	29
物品売却益	41
固定資産賃貸料	25
貸倒引当金戻入額	6
雑収入	24
営業外収益合計	127
営業外費用	
支払利息	174
持分法による投資損失	7
雑損失	126
営業外費用合計	308
経常利益	3,793
特別利益	
投資有価証券売却益	230
特別利益合計	230
特別損失	
たな卸資産評価損	230
特別損失合計	230
税金等調整前四半期純利益	3,793
法人税等	1,531
少数株主利益	19
四半期純利益	2,242

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,793
減価償却費	2,167
投資有価証券売却損益 (△は益)	△230
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4
受取利息及び受取配当金	△29
支払利息	174
持分法による投資損益 (△は益)	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△241
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,013
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,591
その他	△96
小計	6,118
利息及び配当金の受取額	45
利息の支払額	△182
法人税等の支払額	△1,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,915
投資有価証券の取得による支出	△358
投資有価証券の売却による収入	235
その他	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,520
長期借入金の返済による支出	△1,082
配当金の支払額	△488
その他	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,907
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,963
現金及び現金同等物の期首残高	820
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,783

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	50,391
II 売上原価	40,318
売上総利益	10,072
III 販売費及び一般管理費	6,145
営業利益	3,927
IV 営業外収益	168
V 営業外費用	462
経常利益	3,633
税金等調整前四半期純利益	3,633
税金費用	1,450
少数株主利益	12
四半期純利益	2,170

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	3,633
2 減価償却費	2,196
3 売上債権の増減額 (△は増加)	△4,282
4 仕入債務の増減額 (△は減少)	1,475
5 その他	△2,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	809
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△2,145
2 その他	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,209
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 借入金の増減額 (△は減少)	1,361
2 配当金の支払額	△418
3 その他	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	940
IV 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△459
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,495
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,035